

# この街で暮したい

外国人の人権を考える



■出演

山本雅子  
 菅原あき バビタ・ポッダル  
 上野 容 タンジブ・ハッサン  
 ファルザナ・キブリア  
 エム・エ・エム・シャヒーン  
 シャリフ・カン  
 ビスワジット・ドット  
 永野典勝 黒木里美 中村久光  
 早川純一 池田道枝

■スタッフ

監督・脚本・編集 — 原村政樹  
 監督協力 — 大澤 豊  
 助監督 — 川手泰郎  
 撮影 — 森 英男  
 照明 — 奥村 誠  
 VE — 角本輝夫  
 録音 — 片山 勇  
 制作 — 宇賀神幸男  
 製作 — 花崎 哲

# この街で暮したい

外国人の人権を考える

## 企画意図

近年、様々な国からやってきた外国人が私たちの町で暮すようになりました。しかし、言葉や宗教、文化や価値観などの違いから、様々な人権問題が生まれています。今後、ますます国際化が進む中で、日本人と外国人がお互いに違いを認めあって、共に生きていくことができる社会を築いていくことが求められています。そのためにはどうすればよいのでしょうか？

この作品では、入居拒否の例をもとに近年日本に移り住むようになった外国人への偏見を描きながら、外国人の人権について考えていきます。

そして外国人の人権を大切にする、そんな社会は、とりまおさず日本人にとっても暮らしやすい社会であることを伝えていきます。



## あらすじ

在日朝鮮人で児童クラブ(学童保育)の指導員ミファはある日、バングラデシュ人の母親・ジョスナから意外な相談を受ける。息子のココンが、毎日、風呂で皮膚がすりきれれるほどこすっていると言うのだ。

実は、ココンは、児童クラブの和雄たちに肌の色が黒いといじめられていたのだ。それを知ったミファは児童たちの外国人への差別心をなくそうと努力するが、和雄は「ココンの家はいっぱい人が住んでいて夜うるさい」と母親の恵子から聞いた話をして差別心をあらわにする。事実を確かめようとココンの家を訪ねたミファは、ココンの一家は入居拒否で住む家のない友人のアニスとショcottを助けるために同居していることを知る。ミファから、ココン



の家族の温かい心を教えられた和雄は、「ココンがかわいそうだ」と恵子に詰め寄る。

和雄を通じてココンの家族に近づいた恵子が、日本で暮す外国人の生活や悩みを知るようになり次第にココン一家と心を通わせていく。

一方アニスとショcottにアパートを貸してくれる大家はなかなか見つからず、ココンの家では争いが絶えない。ついにはココンの姉のパピアと父親のアブルが大喧嘩をする始末だ。

ミファは入居拒否に苦しむ彼らの力になろうとアニスとショcottを連れて人権擁護委員の和子を訪ねる。そこでミファは、在日朝鮮人の胸の内を切々と訴える。アニスとショcottも外国人に対する理不尽な偏見を訴える。早速和子は大家の田中を訪ね、外国人への理解を求める。田中は以前部屋を貸した外国人がゴミを出すルールを守らないで困った経験があった。ゴミの分別など、外国人には馴染みのないルールは丁寧に教えてあげてほしいと頼む和子。ようやく理解を示した田中はアニスとショcottに会って話し合い、アパートを貸す決心をする。大喜びのアニスとショcott。

ミファと和子は更に外国人と日本人の出会いの場を拓けようと、市民フェスタで「外国人との集い」を開催する。集まった大勢の日本人の前でジョスナは母親としての思いを切々と語る。日本にいても子ども達にはバングラデシュ人としての誇りを持って生きていって欲しいと……。

●この作品の内容についてのお問い合わせ

(財)人権教育啓発推進センター

〒105-0004 東京都港区新橋二丁目5番5号

TEL.03-3503-3304(直) FAX.03-3503-3161